

# 京都教区時報

第101号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

ごぞんじ？あゆみ出している日本の教会

## 一つになろう キリストのうちにみな

### 教区ビジョンと基本方針を具体化する宣教司牧評

#### 福音宣教は信徒一人一人のつとめ

「あなた方は行って、すべての国の人々に福音を宣べ伝えなさい……私は、世の終りまで、いつも共にいる」この様に、キリストは私たち信徒一人一人を福音宣教に遣わされます。群れの牧者である司教を中心にして、私たち信徒はみな、福音を伝える事、キリストに生かされる人々を生み出す事に、心を合わせ、力を合わせて尽さねばなりません。

#### 群れを思う心から生まれた「宣教司牧評」

その様な要請の中で司牧評が生まれました。司牧評は、教区の司牧と宣教に関しての決定をするものではありませんが、宣教と司牧の先頭に立ち働く司教の助言役を果す役割を持つのだと新しい教会法で教えています。

#### 今、宣教司牧評で取り扱っている事

司教団の「基本方針」と「京都教区ビジョン」との関わりをはつきりさせておく事。それによって、よりよく、教会が社会から求められている事、つまりはよりふさわしい福音宣教と司牧活動を実現していく事です。そのため、両方の①内容の理解 ②浸透 ③具体的な検討をすすめています。

今、二つの方針を見ながら気付く事は、微妙な差があるとは言え、両方とも基本的に同じ事を言っていると言う事です。司教団の基本方針は、京都教区ビジョンのまとめとも言えます。

この事は、日本のカトリック教会の基本方針と一致して、実現する事は、とりもなおさず、教区ビジョンを具体化していく事、又逆に教区ビジョンを実現する様努力する事が、日本カトリック教会が神の国実現の努力のために打ち出した方針にそういうものである事に気付かれる事だと思います。

#### 教区創立50周年の取り組み

今、もう一度、両方針を深く検討しなおし、出来るだけ多くの人々の関心と理解を得る事が、具体化の第一歩であると考えています。



# 司祭評議会定例会議報告

4月22日

を予定している。

**(1) 宣教司牧評議会常任委員会報告**

4月12日に開かれ、「教区ビジョン」と「日本の教会の基本方針と優先課題」について、その一致点や相違点などについて話しあわれた。尚、6月22日、23日に宣教司牧評議会総会が開かれ、ここでも討議されることになつていて。

また、司祭評の代表であつたトム・オカナ師のかわりにルカス師が選ばれた。

**(2) 「日本の教会の基本方針と優先課題」について**

京都南部月例会で話しかられたことの報告があつたが、他のグループで話し合いが行われていなかつたので、次回までに各グループで、具体化について話し合つてくることになつた。

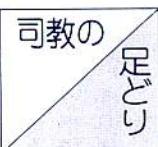
**(6) 報告**

(5) 教区創立50周年に向けてはつきりしない点があるので、次回までに話し合つてくことになった。

(4) 司祭修道士研修会で出されたとの反省と実行への対応今まで実行された研修会を整理し、すぐに取り組むべきこと、今後取り組むべきことはつきりさせていくことになつた。次回に審議される。

**(3) 平和への歩み学習会について**

三重地区では、津の正平協で月一回、犬養道子著「人間の大地」の読書会を行い、秋には講演会



4月  
19日 永平寺晋山式出席。宣教司教委(湯河原)

20日 同委続。教区修女連新役員來訪。三役会

21日(日) 桃山教会ミサ。桃山・西院について事情説明。T病人見舞

22日 南信協代表と面談  
司祭評定例会。アラール師を見舞う。カマラ大司教・同秘書を訪問。(フジタH)

23日 世連日本宗教委再び米訪  
カマラ大司教らと再び面談

24日 幼きイエズス会管区長來訪

25日 PG師來訪。カトリック新聞社訪問

26日 諸宗教委(上智)。SJ菅区長館で面談

27日 京都市内外南部近隣教会の合

御所難民キャンプを9月頃閉じることになるが、今後は定住促進のために力をいれていくことになった。

28日(日) MM管区長と面談・夕食  
同ミサと運動会(伏見聖母)

29日 カマラ大司教と再び面談  
カマラ大司教ら司教館泊

30日 オブス・ディ代表來訪。Sr山下ら來訪。カマラ大司教講演会(平和の歩み学習会第一回)

高橋師(MM)御母堂來訪

5月  
1日 カマラ大司教メイデー・デモに笑顔と握手で挨拶。同大司教を京都駅に見送る。

2日 ネオ求道共同体の集会(郡山)

3日(日)祭マキロップ師・ウイツテ師司祭叙階金祝ミサ(松阪)

5日(日)河原町ミサ。コリアン・センター、衣笠墓地、女子カルメル会訪問と講話

7日 聖ヨゼフ・ボランティア会員に講演

8日 (学)京都北学園の評議員会・理事会(西舞鶴)

9日 ヴイラ師來訪。宗法・社法合同会議

10日 社会司教委員会(東京)

11日 教区時報特別会議(河原町)

12日(日)津教会堅信ミサ

13日 教理セントラーライ理事会(二条)

14日 「平和の歩み学習会」植田氏教区付司祭緊急会議

15日 平城NT合同会議(河原町)

16日 今出川OPミサ

17日 京都教区男女管区長会議(鹿ケ谷SSND)

22日 MM主催司祭金祝バーティーに三司教出席

24日 京都教区男女管区長会議(鹿ケ谷SSND)

25日 南信協青年部懇親夕食会

26日(日)聖靈降臨祭。河原町堅信ミサ滋賀合同堅信ミサ(安土)

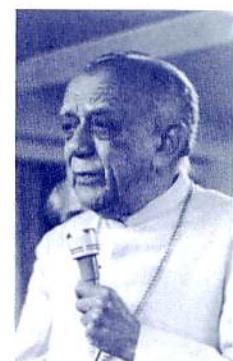
27日 特定小教区関係者会議

28日 (学)京都教区方リタス会理事会

29日 FABC諸宗教事務局(台北)と電連

30日 天皇在位奉祝委員会代表來訪

世連日本宗教委(諸宗教)総会(からすま京都)



## キリスト者に求められている事

カマラ大司教

私たちが平和のために積極的に働く事につながります。世界の「貧富の差」という事を考えてみると、いくつかの先進国の人口は世界の人口の20%にすぎないにもかかわらず、彼らは世界の富の80%を所有しています。ですから全体の80%の人々は残りのわずかなもので生活しなければなりません。尚、その大国はキリスト教の国なのです。また、それぞれの国の中でも同じような不公平が見られます。強い国の多国籍企業は弱い国の金持ちと契約を結んで、貧しい

ブラジルのレシフェ教区の司教。今年4月定年辞任。飢えや不正義に苦しむ人の代弁者として世界中をまわり、正義と平和を訴えつづける。

人々を食いものにしています。そして、不当なその状態を維持しようとしているのです。世界の貧しさや飢えに苦しむ人を救うお金がないのではありません。世界の大団は実際には武器の生産に莫大な富を費しているのです。今、アメリカやソビエトは人々を何度も殺せる武器を持っています。まだ、軍備の拡大をし、神様からいただいた大切な命を減らすとしています。

もし、そのお金が世界の貧しさをなくすために使われたら、すべての人があつと人間らしい生活ができるし、憎しみや戦争の主な原因がなくなりみんなが平和に暮らす事ができます。キリスト信者は不正の中にあっても、イエズス様と同じ精神で生活する事が大切です。平和と正義が社会のかたすみでも実現するよう、祈つたり働いたりする事が今、キリスト者に求められているのです。

## 人権と平和への私たちの姿勢は

### 85「平和への歩み」講演要旨

#### 暮らしと人権・平和

田畠 効氏

つち

たけ

1979年、京大工学部助教授を辞職。'73年「使い捨てを考える会」を設立。実践を通じ、現代を考え、未来の可能性を模索。現在、精華大学教員。

所です。

アジア・アフリカの飢えている人々に反して、日本では分不相応に世界の食糧をお金に明かして買いまくっている。確実に予測できる事として食べ物に困る未来が待つておきたいんです。

私たちは自然に満ちた農村、山村にしだいに関心を持たなくなっています。この事は私たちの現在と将来にとって大いに考えさせられる

戦争中、貧困や飢えで暮らしはどんどん底でした。誰しもが戦争はいやだと思った中で、戦前の教育勅語に基づく、あるいは、明治以来の富国強兵の政治・社会の流れは一変し、平和国家・文化国家日本



というふうに変って来た。形式的にせよ日本国憲法などで戦争の放棄、国際紛争を解決する手段としての戦力を保持しないと宣言しておきます。

しかし、朝鮮戦争を契機にして経済が潤い、高度経済成長への準備が整う中で、警察予備隊ができ、保安隊となり、'54年には自衛隊となる。今日の自衛隊と言えば御承知通り、世界有数の軍隊です。この事は、インチキの上塗りを重ねながら日本は軍事大国に向かって、進んできたと思うんです。教育の流れも確実に変わってきています。

# どそんじ？

## あゆみ出してゐる日本の教会

### 日本の教会の基本方針と優先課題



過去十年間、四つの指針が司教団によつて出されたが、直接宣教の促進と社会の福音化が二本柱となつてゐる。しかし、これらの指針は、教会全体に浸透せず、したがつて、約四十万のカトリック教会の全員が一体となつた協力態勢はまだ出来上がつていなのが現状である。

八〇年代に入つた今日、多くの人々が、物質的豊かさだけでは満足せず、精神的価値を求め、「物より心」の時代になりつつある。

しかし、能率主義、合理主義による管理化、画一化が社会のあらゆる面で強化され、個人のみならず地域、国家のエゴイズムも露骨になり、落ちこぼされたり、差別されたりする人々がますます多くなつてきてゐる。

このような現状の中で、福音宣教の強化と社会・文化の福音化の課題を最優先すべきことを再確認し、特に、全国レベルで、司教、司祭、修道会・宣教会の会員、信徒の全員が真に一体となつて取り組む協力態勢づくりが急務である。昨年実施した中央協議会の改革の目的もこのためであつた。

したがつて、今総会は、下記の方針を採択する。

### 基本方針

**1** 私たちカトリック教会の一人ひとりが、宣教者として、まだキリストの食卓を囲んでいない人々に信仰の喜びを伝え、より多くの人を洗礼に導き、かれらとともに救いのみ業の協力者となる。

**2** 今日の日本社会や文化の中には、すでに福音的な芽生えもあるが、多くの人々を弱い立場に追いやり、抑圧、差別している現実もある。私たちカトリック教会の全員が、このような「小さな人々」とともに、キリストの力でこの芽生えを育て、すべての人を大切にする社会と文化に変革する福音の担い手になる。

### 優先課題

したがつて、司教団は、このような使命をよりよく達成するために、今後次のことを目指す。

- 1** 教区、小教区を宣教共同体になるよう育成する。
- 2** 修道会、宣教会、諸事業体（学校、施設）と具体的な協力態勢をつくす。
- 3** 一九八七年に、司教、司祭、修道者、信徒による福音宣教推進全国会議を開催し、それを目標に準備に取り組む。

以上

一九八四年六月二十二日

一九八四年六月定例司教総会において  
日本カトリック司教団

解說

見直そうあなたの足もと

日本の教会の基本方針と

優先課題を読んで

西野猛生

対話のはじまりは…

「私たちの周りに」ある福音的な  
芽生え」と言われている宝を掘り  
起こし、ともに喜び合える時、喜  
びの知らせ（福音）は伝わるでし  
ょうし、イエズス様を紹介する対  
話もできるようになるのではないか。  
でしょうか。

コツコツ平和を作る人々

毎年夏になると、水道の水がくさくて困るとは言いますが、合成洗剤を石けんに変えて、琵琶湖の水を少しでもきれいにし、下流に住んでいる人々に安全で、おいしい水を飲んでもらおうと日々努力している人たちのことまでは考えません。植物や動物の脂にアルカリを加えてつくる石けんとは異なり、合成洗剤は、人間も動・植物も初めてつき合う化学物質で作られています。安くて便利なので大量に使われ出し、それと共に皮膚炎・内臓障害やガンの発生率も大幅に増加しました。

が、吹田市に住む九十一歳のおばいさんが既に六年間も、平和を訴えて「平和通信」を続け、それが三千通にもなっていることに気付きました。染物屋や木箱屋などで八十歳まで働き、退職後、目や耳や足の不自由さに負けないで、新聞・雑誌の記事を切り抜き、自分の意見を添えてコピーし、月二回「平和通信」を郵送しているおじいさんの記事が、五月末の朝日新聞に出ていました。

そして現在の労働条件にしても多くの労働者が、あるいは殺されあるいは牢獄で拷問にあり、あるいは差別やいやがらせを受けながら闘い、勝ち取ってきたおかげでよくなっている歴史があり、今も続けられています。

私たちの住んでいる社会は、肩書きも何もない多くの人々の、目に見えない、耳にも聞えない日々の努力によつて支えられています。このような努力によつてよりよくなり、あるいは、より悪くなるのを食い止めています。

なり、あるいは、より悪くなるのを食い止めています。  
誤解したり、偏見や先入観を持つしまって、畠に隠された宝を見過ごしてしまい、その人たちの努力の結果だけを、それと気付かないで享受していることが非常に多いように思います。

ある幼稚園で、園児にお母さん  
の顔を描かせたところ、鼻の穴を  
大きくまん丸く描いたそうです。  
お母さんがいつも立ったままで話  
すので、当然下から見上げた姿し  
か描けなかつたのです。対話は、  
対話し合う人同志、同じ立場に立  
つか、少なくとも同じ立場に立と  
うという努力がなければ成り立ち  
ません。教える人と教えられる人  
との関係では対話になりません。  
だからこそ、司教様方は、「キリ  
ストとともに、『小さな人々』（マ  
タイ書十一章二十五節）になるこ  
とを目指したいと思います」と言  
われているのです。

また戦争はいやだとは言います



司教様方が「日本の教会の基本方針と優先課題」の中で「すでに

(九条教会主任)

わたしと平和⑥

## 核戦争三分前、私に問われてのこと

シスター 鎌田論珠

シスター  
かまた  
ろんじゅ

アジア・太平洋の国々に、日本自体に、また世界の国々に癒し難い傷を残して終った十五年戦争から四十年、二度と戦争を繰り返さないと誓つて平和憲法を持った日本はこの年月をどう歩んできただろうか、日本のカトリック教会は、そして私自身は?

言い尽くせないほど悲惨な加害と被害の戦争体験が少しづつ掘り起され蓄積されていく一方で、朝鮮戦争とベトナム戦争をバネに経済を立て直した日本は第三世界への経済侵略によつて高度成長を支えてきた。自衛隊は米国の期待に沿つてますます増強され、米軍との協力関係を深めている。これはまた米国との経済摩擦を解消するためには不可欠なことでもある。

こうした現状を維持するため、戦争体験はむしろ過去の遺物として

忘れられようとしている。

間もなく6月23日、沖縄慰靈の日が巡つてくるが、沖縄戦に如実に表わされた強者が弱者を切り捨てる戦争の論理は決して過去の遺物ではなく、私達の日常をとりまき、世界を再び戦争へと駆り立てる指導原理でもある。

「人の子は安息日の主である」といわれたキリストは、人間存在の尊さに神の擬以上の価値を認められ、このことの故に御自分の生命を捧げられた。人間存在の尊さに最高の価値をおくキリストの論理が平和の論理でもある。

私個人は社会を支配する巨大な戦争の論理の歯車に巻きこまれ、手も足も出ない無力感を感じづけてきた。突破口は個人として人間存在の尊さに最高の価値をおく生き方を常に選びとことだろうか、生命をかけてこの延長線上に核戦争三分前」といわれる世界へ教會共同体として働きかける道が見出せるのではないか。時は迫っている。(ノートルダム教育修道女会)

京都園部教会だより

私たちのバス  
貸し出します



園部教会では昨年11月新主任司祭ホセ・A・ロペス神父を迎えてのよき指導を得て、それまで各信者の中に蓄積されていた信仰の力が一気に引き出されたようです。そうした中で、京都ビジョン「社会と共に歩む教会」の主旨にのつたり、典礼グループ(よりよい「ミサ」)にあずかるために、「難民グループ(衣類の収集・募金活動)、身障者グループ(こひひつじの苑)」「ミサ」手伝い、並びに信徒の教会行事参加への援助「子弟教育グループ」

「日本カトリック婦人  
団体連盟総会」に参加

河原町教会 岡田久美  
西陣教会 柳本宣子

5月14・15日、総会は「婦人としての宣教活動とは」の白柳大司教様の基調講演で始まりました。女性としての家庭、職場、地域社会に於いての宣教の大切さとその使命についてのお話を聞き、分科会ののち、島本司教様の、すべての宣教は祈り、学習、行動に基づくものであるとのお話を閉会しました。他教区の息吹にふれられ、価値ある総会の参加ができました。皆様にもおすすめしたいと思います。

「(土曜学校の開設)以上四グループが結成され、それぞれ活発な活動が行なわれつつあります。さらに、このボランティア活動を容易にするために、このほど15人乗りマイクロバスが購入され常備されました。このマイクロバスは他の教会、団体に貸出OKのこと、大いに利用していただけることを歓迎します。なお、御利用希望の方は直接園部教会に申し込んで下さい。



# お知らせ

8月11日(日)の集い  
みんなで「平和のためのミサ」を



平和時間(8月6日~15日)の一環として、京都教区では「平和への歩みの学習会」が今年も4月~9月まで(前月No.100号に掲載)行われています。その取り組みの中でも、今年は各教会でいっせいに「平和のためのミサ」を教区共同体として、捧げることになりました。学習会で学んだこと、平素考えてられる平和問題など、キリストと共に祈りましょう。

- 7月 1日 司祭評定例会。
- 14日(日)宇治30周年・堅信ミサ。
- 15日(日)京南司祭月例会。
- 21日(日)神の園13周年記念ミサ。
- 26~29日 養成コース(基礎)  
於彦根教会。

ところ 各小教区において  
と き 8月11日(日)

## 「平和への歩み」学習会

日時 7月14日(日) PM2時~4時  
場所 京都カトリック会館  
講演 アジア諸国と日本~せめられる回心~  
講師 ハアシア教会協議会  
人間開発局事務局長 Sr弘田しげえ

- パウロ・エグリ神父(77)  
6月2日(スイス時間)
- ダルシー・ウォルシュさん(88)  
1月4日(オーストラリア)
- 大和高田教会主任  
ジョン・ウォルシュ師母堂  
ヨゼフ・寺島久藏氏  
4月3日(大阪)
- イエズスの小さい姉妹会  
Srモニカ郁子さん敬父  
皆様お祈り下さい。

- ▼京都教区難民定住基金について  
'83年11月~'85年3月31日現在までの募金額は一〇三二六二〇円となりました。皆様の寛大な寄付に感謝しますとともに、今後ともご協力を下さいますようお願いします。

日時 毎週日曜日 PM3時  
(英語のミサ、のち交流会)  
場所 京都カトリック信愛幼稚園  
〒604京都市中京区河原町三条  
(石野)

あなたも参加して下さい!  
英語ミサで交わす日比の友情

滞日のフリリビン女性たちと共に、ミサを中心とする共同体を作ろう!という仲間です。

- トマス・オカナード師(西院教会)
- カナダへ静養の為帰国  
ヨゼフ・ナドー師(北白川教会)

## 宣教Tシャツ

●価格一枚1,200円 ●サイズ・フリー  
お買い求めは→  
京都カトリック教理センター  
☎(075)761-9095, 752-0057



## 帰天 レクイエムミテルナム

(永遠の安らぎを!)



□平和への歩み(入門編)

まず、身近にある問題に关心を

持つ事から。つぎ、どんな人たちがどのように取り組み、何が訴えられているか聴こう。そして、自分ができる事から協力しよう。

さて、もう外登法改正要請の署名はお済みですか?

(よ)

## 聖書パズル

### 五月号 解答

アモ	ウイ	ア
オダ	エ	バ
テク	ル	セ
ハ	ソ	ト
ヨリ	ビ	ス

アダム、イササ、ヨセフ、  
アノナ、タコリ、ハビア、  
アーベル、ヨンラ、トビア、  
クムアフ、ノンラ、トビア、  
アーベル、クムアフ、

▼多数の御応募ありがとうございました。今回問題に誤りがありました。今回問題に誤りがありました。今回問題に誤りがありました。

たため解答ができにくかったことがあります。お詫び致します。  
次の方に記念品をお送りします。▼南野 森(北白川)宮崎  
るりか(鈴鹿)中村ヨシ子(聖ドミニコ会)(敬称略)

▼皆様の投稿もお待ちしています。  
▼皆様の投稿もお待ちしています。  
▼皆様の投稿もお待ちしています。  
▼皆様の投稿もお待ちしています。